

こんだて
献立によせて

がつ か ど にち きん
1月24日（土）から30日（金）

ぜん こく がっ こう きゅうしょくしゅうかん



がっ こう きゅうしょく はじ 学校給食の始まり



にほん がっこうきゅうしょく めいじ ねん ねん やまがたけん しりつつゅうあい
日本の学校給食は、明治22年（1889年）、山形県の私立忠愛
しょうがっこう まず べんとう も こども
小学校で、貧しさでお弁当を持ってくることができない子供たち
のために出した食事が始まりといわれています。

ご がっこうきゅうしょく こども えいよう かいぜん かくち ひろ
その後、学校給食は、子供たちの栄養を改善するため、各地へ広
まりましたが、せんそう ちゅうだん
戦争で中断してしまいました。



し えん ぶつ し がっ こう きゅうしょく さい かい 支援物資による学校給食の再開

せんご こども えいようじやうたい あっか しんばい ねん
戦後、子供たちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946年

（昭和21年）に、アメリカのLARA（アジア救 援公認団体）から

きゅうしょくやうぶつ しきそう う よくとし がっ こうきゅうしょく さいかい
給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。

とうしょ きゅうしょくやうぶつ しきそう おこな がっ か がっ こうきゅうしょくかんしや ひ
当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」

としましたが、1950年度（昭和25年度）からは冬休みと重ならない1月24
か にち ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
日～30日が「全国学校給食週間」になりました。



ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかんちゅう

全国学校給食週年中、つくばみらい市では、

むかし きゅうしょく めいじ ねんごろ しやうわ ねんごろ しやうわ ねんごろ
昔の給食（明治22年頃・昭和30年頃・昭和40年頃）の

こんだて いばらきけん きやうどりようり こんだて ていきやう
献立、茨城県の郷土料理の献立などが提供されます。

たの
お楽しみに！

